

クラブ創立15年の振り返りと 今後のクラブ運営について



2012年11月4日：東海大学校友会館
東京都スキー連盟

No.626

タントスキークラブ

池澤 康之



0. 設立前夜（1997年～）

- 5月 発起人による打ち合わせ（一回目）

小川昭彦、吉沢正雄、岩崎拓実、本吉貞彦、川崎英輝、川崎みち子、池澤康之

1997年当時の都連加盟条件：

紹介団体からの推薦、団体登録30名以上、加盟金20万円、負担金3万円

- 8月 クラブ名決定⇒タント スキークラブ

* その他、候補だったクラブ名：

タント スポーツクラブ

ユニオン、ザッツ、イングス、レインボー、ヒッポー、遊雪銀嶺会

- 8月 日野市スキー連盟の理事会の承認

- 9月 都連総務本部長 面接（小川前会長）

- 9月 都連理事会 面接（日野市 下平滋前会長、小川前会長）

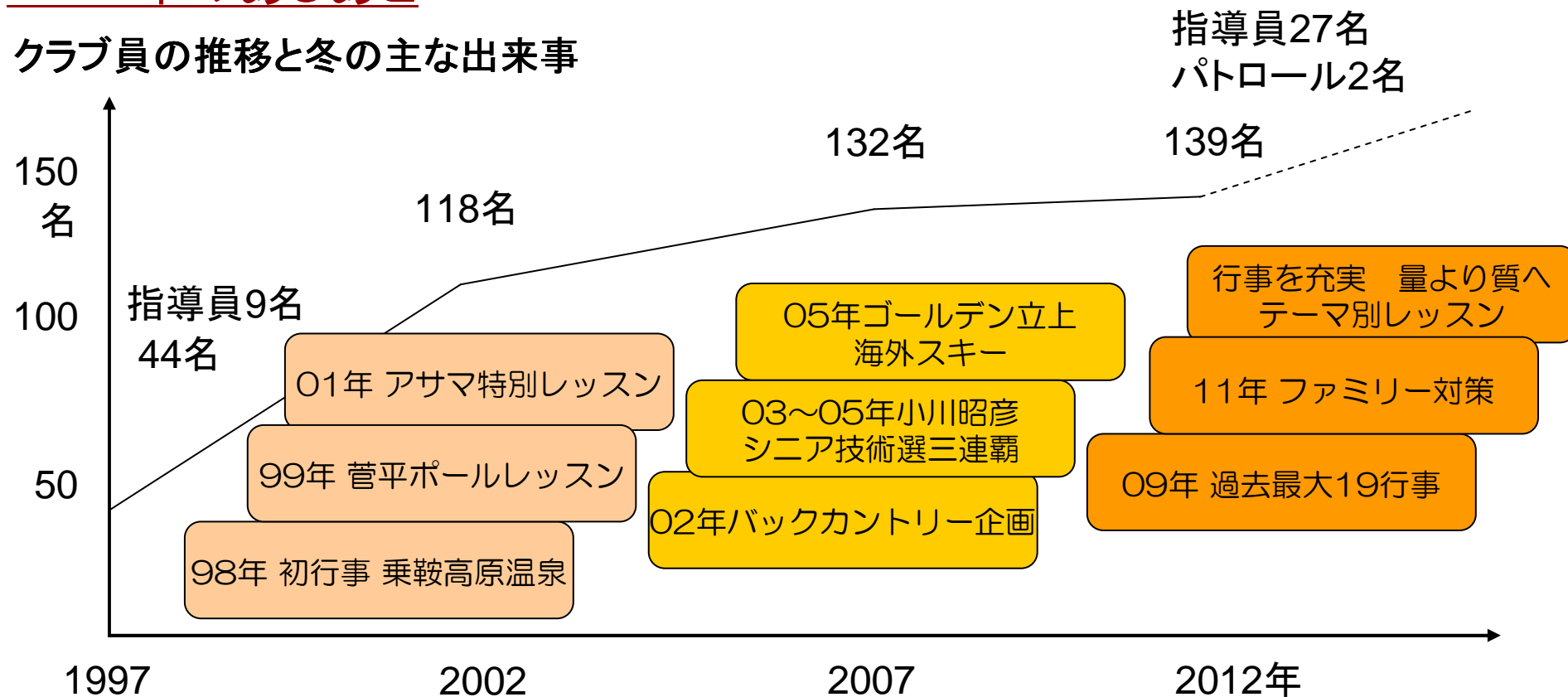
- 10月 都連理事会 審議・承認

- 10月 タントスキークラブ 設立総会



1. 15年のあしあと

クラブ員の推移と冬の主な出来事



- ↑
- 材木座セーリング
- ザウスレッスン (2002年閉館)
- インラインスケート
- 料理教室・ワイン講座
- テニス合宿 (伊豆・軽井沢)
- パラグライダー

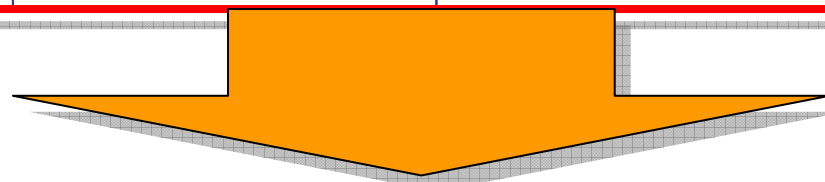
- ↑
- 西伊豆シーカヤック
- キャンプ
- フリーマーケット
- 白馬マウンテンバイク
- コンディショニング
- トレーニング

- ↑
- プラスノー
- 鉄道系企画
- ヨガ・ピラティス
- チューンナップ講座
- キャニオニング
- ラフティング

オフ企画 あれこれ

2. 数字でみる「タント」

	2002年	2007年	2012年
クラブ員数	118名	132名	139名
入会きっかけ	ホームページ(37%) 会員の紹介(34%)	ホームページ(32%) 会員の紹介(30%)	ホームページ(37%) 会員の紹介(29%)
年齢構成比	30歳代(46%) 60歳代以上(2%)	30歳代(60%)	40歳代(40%) 60歳代以上(15%)
地域別構成比	東京(53%) 神奈川(26%)	東京(62%) 神奈川(33%)	東京(48%) 神奈川(25%)
行事回数	10回	17回	5回
上級者比率	51%	55%	60%

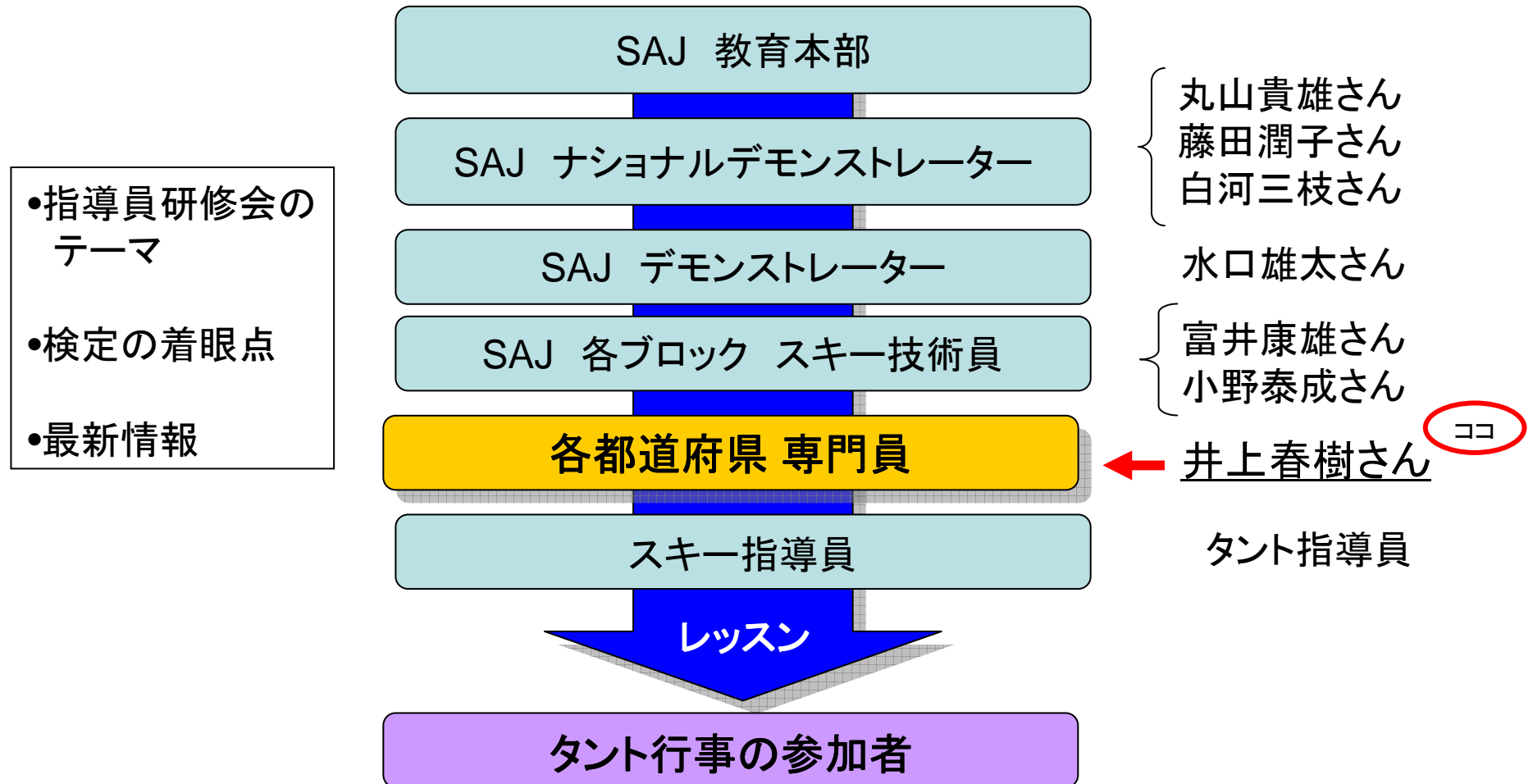


多様化するスキー志向に対応するために、量より質の行事へ
テーマ別特講班を開講！

☆お知らせ: タントから念願の専門員誕生！

正式名称: 東京都スキー連盟 教育本部 専門員

専門員は、スキーに関する高い専門知識をもち、指導の資質に優れたスキー指導者が選出される。東京都スキー連盟の主催行事に、講師として積極的に参加する。



専門員の誕生により、クラブ所属の指導員が、全日本スキー連盟が掲げるスキー技術や最新情報など入手することができ、参加者の皆さまへ、より早く正確に伝達することができます。

3. 今後のクラブ運営方針

長引く経済不況、低迷するスキー業界、スキー人口減少
遊びの多様化、ライフスタイルの変化、温暖化・・・

ネガティブ要因ばかり...

15周年
記念誌より

- 減少するスキー人口の中で、スキーをやりたいと思う人たちの受け皿でありたい。
- ファミリーやキッズのニーズはますます高まっていく。そんな時、家族やいろいろな人が一緒に集まれる場所が欲しい。
- 活性化のためにも若者(特に20代!)の新規会員を増やしたい。

①スキー(スノースポーツ)のきっかけを提供する

②スキーを始める人を誘い、昔のスキーヤーを回帰させる
スキーの普及推進役、スキー界の底辺拡大

③多様化するスキー志向に対応する「冬の行事」を充実させる

初めてのタント
会員増キャンペーン
スキーリユース

「基地としてのタント」を提唱していきます